

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

経営理念

価値ある事業空間を提供しお客様と共に発展することにより、社会に貢献する。信用を重んじ質を重視した経営を堅持し、革新と効率を尊ぶ。

事業利益
80億円

事業利益
140億円

GHG削減
46%削減

グリーンビル認証
50%以上

2 中長期の経営戦略

1. 新規事業投資戦略

首都圏のオフィス・物流倉庫・商業ビル取得、データセンター開発、フロー事業拡大、多様なアセットタイプへの投資、海外投資推進。

3. 財務基盤強化

自己資本比率30%以上、ROA4.0%以上、ROE7.0%以上の維持・向上、配当性向45%程度を継続。

2. ESGサステナビリティ戦略

TCFD提言への対応、GHG排出量削減・グリーンビル認証目標の進捗管理、人的資本経営強化。

4. 既存資産の見直し

既存施設の見直し進行、建替え40～50億円、大規模修繕100億円を計画し経営効率改善。

3 対処すべき課題

① 国内不動産市場の構造変化

- ・労働力人口減少による新規需要減速でオフィス賃貸市況見通し悲観的。
- ・景気不振リスク（物価上昇・金利上昇・人手不足）への対応必要。
- ・稼働率は足下堅調だが、中長期的な市場縮小に備える必要。

② サステナビリティへの対応

- ・GHG削減目標達成（2031年3月期46%削減、2051年3月期ネットゼロ）。
- ・グリーンビル認証取得面積率50%以上の追求。
- ・気候変動・環境問題への積極的対応が経営課題。

③ 人的資本経営と体制構築

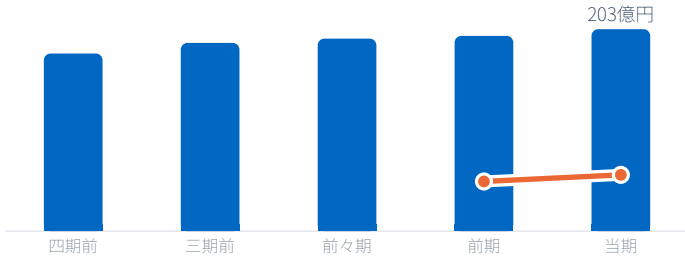
- ・人材育成・多様な人材確保による長期計画支援体制構築。
- ・DX推進を含む社内環境整備と働き方改革。
- ・創立100周年（2048年）見据えた成長基盤確立。

面接で使えるポイント

- ・創立100周年の2048年を見据え、10年間の長期経営計画（2024-2033年度）で新規事業と既存事業のバランス転換を…
- ・首都圏のオフィス・物流・商業ビル、データセンターへの投資により…
- ・GHG排出量46%削減（2031年）、グリーンビル認証50%以上など…

証券コード 8818

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
203億円営業利益率
27.9%財務健康度
43点 / 100点

将来性 曇り時々雨 / 就活偏差値 56.1（当サイト算出の参考指標）

平均年収
1,108万円

不動産業内 15位/130社

平均年齢
46.0歳

不動産業内 12位/131社

平均勤続
9.2年

不動産業内 33位/131社

女性管理職
11.8%

不動産業内 39位/76社

男性育休
－（未開示）

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: 株式会社ストラテジックキャピタルが京阪神ビルディング株式会社

要するに
不動産業界に属する上場企業であり、土地建物賃貸
事業を主な事業内容としている

主力事業・セグメント

・不動産業（セグメント未開示）

強み・特徴（公開データから）

・営業利益率27.9%と高い収益性

・東証プライム市場上場

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

